

318

129

花  
都  
逸  
士  
氏  
著

前  
進  
ニ  
於  
ケ  
ル  
警  
備  
行  
軍  
ノ  
原  
則

東  
京  
兵  
林  
館  
發  
行

318 129

318-129

前進於ケル警備行軍ノ原則目次

- 第一、要旨
- 第二、前衛ノ任務
- 第三、前衛司令官
- 第四、前衛ノ編成及兵力
- 第五、梯隊區分及其名稱
- 第六、前衛本隊
- 第七、前衛兵
- 第八、前衛支部

目次

明治  
37 1 29  
内交

二七 二三 二〇 一六 七 四

第九、步兵及騎兵尖兵	二八
第十、前衛騎兵	三五
第十一、本隊ト前衛ノ距離	三七
第十二、前衛各梯隊ノ距離	四〇
第十三、本隊以下ノ梯隊距離	四一
第十四、側衛	四三
第十五、後衛	四六

前進ニ於ケル警備行軍ノ原則目次終

前進ニ於ケル警備行軍ノ原則

花 都 逸 士 著

第一 要 旨

敵ニ近ク若クハ敵地ニ在テ行進スル軍隊ハ常ニ危険ノ方面ニ一部隊ヲ派遣シテ之ヲ掩護警戒ニ任ゼザル可ラズ

其警戒隊一般ノ任務ハ不意ノ敵襲ニ對シテ本隊ヲ掩護スルニアリ之レガ爲メニハ搜索ノ方法適當ナルヲ以テ第一ノ主眼トスルヲ要ス  
 搜索ニハ通常騎兵旅團及騎兵聯隊之ニ任ズベキモノナリト雖モ其騎兵幕ハ疎散ニシテ敵騎ノ進入ヲ免ル、能ハザル耳ナラズ此搜索ニ任ゼラレタル騎兵ガ若シ敗退スルノ場合ニ在テハ益々敵騎ノ動作自由

ナルニ至ルベシ且ツ騎兵ノ性質ハ韌軟ノ抵抗ニ適セズ故ニ例令へ衆多ノ騎兵ヲ以テ搜索ニ任ズベキ場合ト雖モ更ニ直接掩護ノ目的ヲ以テ部隊ヲ派遣スルヲ必要トス

直接掩護ノ目的ヲ以テ派遣スル部隊ノ首腦ハ敵ニ對シテ前進スル場合ニハ前衛同退却ノ場合ニハ後衛同側進ノ場合ニハ側衛ヲ設ケ尙ホ時トシテ前進ニ於テ側衛後衛退却行ニ於テ側衛前衛側進行ニ於テ前衛側衛ヲ設クルコトアリ

## 第二一 前衛ノ任務

前進行ニ於ケル前衛ハ本隊ヲ直接ニ掩護スベキ首腦ニシテ其任務概テ左ノ如シ

甲、本隊ヲシテ不意ノ敵襲ヲ受ケシメザルコト

乙、本隊ノ動作ヲ敵ニ掩蔽スルコト

丙、本隊ノ行進ヲ遲滯セシメザルコト

丁、敵襲ニ方リ本隊指揮官ヲシテ其意圖ヲ遂行セシムルガ如ク動作スルコト

戊、進路ヲ妨害スル微弱ナル敵ヲ擊掃スルコト

己、諸情報ヲ収集スベキコト

是等ノ任務ヲ達スル爲メニ探ルベキ方法ヲ概述スレバ左ノ如シ

1、廣ク且ツ密ニ搜索スルコト

2、敵情及地形ニ關シテ本隊指揮官ニ報告スベキコト

3、寡弱ナル敵ヲ擊破スベキコト(敵ノ小部隊ノ如キハ彼自ラ危殆ニ

陥ルベキヲ以テ之ヲ搜索追及シテ全滅セシムルノ必要ナシ）  
 4、衆多ノ敵ニ對シテハ適當ノ地點ヲ占領シテ本隊指揮官ノ命ヲ待  
 ツベキコト但シ攻撃ヲ受タル場合ニ在テハ極力之ニ抵抗スルヲ  
 要ス

- 5、追撃ノ場合ニ在テハ之ヲ急進シテ敵ニ損害ヲ與フベキコト
- 6、障害物ヲ除去スベキコト
- 7、信書等ヲ獲取スベキコト
- 8、行進速度ヲ常ニ齊一ナラシムベキコト
- 9、本隊ノ行進速度ニ準ジテ行進ヲ規定スルコト

### 第三 前衛司令官

既ニ述べタル前衛ノ任務ハ即チ前衛司令官ノ任務ナリ此任務ハ甚ダ  
 重ク且ツ單簡ナラザルヲ以テ獨リ司令官ノミニテ之ヲ達成シ能ハザ  
 ルベシ故ニ其兵力ヲ數個ノ梯隊ニ區分シテ之ヲ分任セシムルノ必要  
 ヲ生ズルモノトス

完全ナル前衛命令ニ記載スル順序及項目ハ概テ左ノ如シ但シ之ヲ變  
 更スルモ敢テ妨ゲナキモノトス

- 1、受令者ノ知ルヲ要スル敵情
- 同、友軍タル縦隊ノ情況
- 2、我軍目的ノ大要

受令者ノ知ルヲ要スル友軍(例令ハバ獨立騎兵ノ如シ)要スレバ  
 項ト共ニ記スノ情況

3. 我前衛目的ノ大要(要スレバ2項ト共ニ記ス)
  4. 軍隊區分ニ依テ成立セシ前衛騎兵(軍隊區分ナキトキハ其部隊ヲ指示ス)ノ進路、出發時限、出發地及搜索等ニ關スル指定
  5. 同、前兵(前ノ括弧内ニ同ジ)ノ進路、出發時限、出發地、要スレバ搜索區域若クバ其方向并ニ前衛本隊ノ隔ツベキ距離ノ指定
  6. 同、側衛(前ノ括弧内ニ同ジ)ノ進路、出發時限、出發地等ニ關スル指定
  7. 同、前衛本隊(前ノ括弧内ニ同ジ)ノ行進序列(要スレバ)
  8. 要スレバ大行李ニ關スル件
  9. 前衛司令官ノ位置
- 前衛司令官ハ特別ノ場合例令ヘバ甚シク敵ト近接シアルトキノ如キハ前兵ト共ニ前進ス是レ成ルベク速ニ敵情ヲ得テ適當ノ處置ヲ爲ン

ガ爲ナリ然レモ普通ノ場合ニ在テハ前衛本隊ノ先頭ニ在テ行進スベキモノトス

#### 第四 前衛ノ編成及兵力

前衛ノ編組及兵力ハ目的、地形及縱隊ノ大小ニヨリ決定セラレベキモノナリト雖モ其大兵團前後ニ重リテ行進スル場合ニ在テハ前進梯團ノ兵力ニヨリテ定ムベキモノトス

前衛ノ主要ナル任務ハ小ナル範圍ニ於テ敵情ヲ搜索スルト敵ノ攻撃ニ對シテ本隊ノ開進ヲ掩護スルニアリ故ニ搜索ノ爲メニハ騎兵ヲ要シ抵抗ノ爲メニハ歩兵ヲ有利トス是レ前衛ニ少ナクモ歩、騎兩兵ヲ必要トスル所以ナリ

此ノ如クナルヲ以テ指揮官ハ廣大ナル地區搜索ノ爲メニ騎兵ヲ前方ニ使用スル場合ト雖モ前衛直接ノ目的ヲ達シ得ルニ必要ナル騎兵ヲ前衛ニ屬スベキモノトス而シテ前衛司令官ハ其騎兵稍大ナルトキハ之ヲ前衛騎兵トシテ使用シ又其騎兵甚ダ微弱ナルトキハ之ヲ前兵ニ屬スベキモノトス

此ノ如キ場合ト雖モ本隊ニハ指揮官ノ護衛及傳令并ニ直接必要ナル搜索ニ任ズベキ若干ノ騎兵ヲ置カザル可ラズ

彼我ノ距離僅少ナルカ若シクハ騎兵ノ兵力寡弱ナルカ又ハ敵騎ノ甚ダ優勢ナル場合ニ於テハ指揮官直接ニ騎兵ヲ使用セズシテ前衛司令官ノ使用ニ供スルコトアリ如何ナル場合ト雖モ各部隊ニ必要ノ傳騎ハ其己レニ屬セラレタル騎兵部隊ヨリ使用スベキモノトス

全歩兵ノ大部分ヲ以テ前衛ヲ編成スルトキハ前衛司令官ハ知ラズ識ラズ指揮官ノ意圖ニ反スルノ動作ヲナシ以テ指揮官ノ指揮ヲ掣肘シ其甚シキニ至テハ指揮官アルモ敢テ無用ナルニ至ラシム特ニ又他ノ一方ヨリ觀察スルトキハ警戒ニ任ズル部隊ハ其勢力比較的増大ナルヲ以テ益々不可ナルベシ之ニ反シテ若シ全歩兵ノ小部分ヲ以テ之ヲ編成スルトキハ前衛ノ任務就中敵ノ攻撃ニ際シ本隊ヲ掩護シ能ハザルベシ故ニ前衛ニ編入スベキ歩兵ハ一方ニ於テハ本隊指揮官ノ指揮ヲ掣肘セザル如ク他ノ一方ニ於テハ前衛ノ任務ヲ盡クスニ足ル如ク互ニ相折衷シテ其兵力ヲ定ムルヲ可トス之レガ爲メ其兵力ハ成ルベク部隊ノ建制ヲ破ブルコトナクシテ全軍歩兵ノ六分一ヨリ三分一ニ至ルノ間ヲ適當トス

前衛ハ寡弱ナル敵ニ對シテハ之ヲ擊掃シ優勢ナル敵ノ攻撃ニ對シテハ之ヲ支持シ以テ本隊ニ開進若シクハ展開スルノ時間ヲ與ヘザル可ラズ之ガ爲メニハ前衛ニ砲兵ヲ附屬セシムルヲ適當トスルガ如シ而シテ其前者ノ爲メニハ砲兵ヲ分割シテ若干中隊若シクハ一中隊附屬スルモ稍々其目的ヲ達スルヲ得ルナラン然ルニ此ノ如キハ例外ノ場合ニシテ若シ敵ガ我ニ優ル所ノ砲兵ヲ有スルトキハ我レハ各個ニ擊破セラル、ノ不利アルベシ後者ノ爲メニハ成ルベク多數ノ砲兵ヲ前衛ニ屬スルヲ有利トスルガ如シ然ルニ多數ノ砲兵ヲ前衛ニ附屬スルハ宛カモ多數ノ歩兵ヲ前衛ニ屬シタルト殆ド同一ノ弊害アルヲ以テ之ヲ避クルヲ可トス

十

戰ヲ豫期シタルトキニ在テ敵ノ前衛ニ砲兵ヲ有セザルヲ知ルカ或ハ敵ニ先チテ一地ヲ占領シ以テ本隊ノ來着ヲ待ツベキカ或ハ地形上之ヲ有スルヲ必要トスルカ又ハ追撃ニ任ズル前衛ニ於ケルガ如キ例外ノ場合ナルベシ

此ノ如クナルヲ以テ我々務令第七十八ニ曰ク野戰砲兵ヲ前衛ニ屬スベキヤ其兵力ヲ幾何トスベキヤハ高級指揮官ノ判斷ニ任ズ但野戰砲兵ヲ配布スルトキハ之ヲシテ優勢ナル敵ノ砲兵ト對峙セシメザルコトニ願慮スベシト

元來砲兵ノ戰鬪ニ於ケル効力ノ優勢ヲ得ルハ之ヲ集團シテ同時ニ使用スルニアリ故ニ六中隊ヲ有スル師團ニ在テ之ヲ分割シテ前衛ニ使用スルガ如キハ蓋シ一般ノ場合ニ於テ得策ナラザルベシ



又砲兵ノ性能上ヨリ論ズルモ現今ノ火砲ハ其射程往昔ノ火砲ニ比スレバ遙カニ遠大ナリ故ニ敢テ本隊ニ置クモ時機ヲ失スルコトナカルベシ其運動性ニ於テモ亦容易ナルベキヲ以テ例令へ本隊ノ位置ニアルモ速カニ之ヲ前衛ニ送り得ラルベシ但シ山砲ノ運動速カナラザルハ舊ニ異ナラズ

道路橋梁ノ改修構築障害物ノ除去等ハ前衛ノ任務ナリ之等ノ爲メ工兵ノ大部ヲ前衛ニ附スルヲ通常トス  
 數多河川ガ我前進路ヲ横斷スルガ如キ場合ニ在テハ架橋縦列ノ一部ヲ前衛ニ屬スルヲ有利トスルコトアリ  
 戦闘ヲ豫期スルガ如キ場合ニ在テハ衛生隊ノ一部ヲ前衛ニ屬スルヲ有利トス

連絡報告及通報ヲ迅速容易ナラシムル爲メ自轉車隊ヲ前衛ニ屬スルヲ有利トス然ルトキハ若干ノ騎兵ヲ減少スルヲ得ベシ  
 歩騎兵單獨ノ行進ニ在テモ其前衛ノ兵力ハ前衛ノ要領ニ準ジ定ムベキモノトス  
 既述ノ如クナルヲ以テ前衛ノ編成及其兵力ハ一定ス可ラザルモ其基準ヲ述ブレバ概ネ左ノ如シ

前進スル所ノ全力		敵情		普通ノ場合	
歩兵一中隊(分十八)	二 分 隊	平坦開濶地	尋常ノ地形	山地、不齊甚シキ土地	一 小 隊
騎兵一中隊(分十六)	一 分 隊	半 小 隊	一 小 隊	一 小 隊	一 小 隊

步兵一中隊	步兵一分隊	步兵一中隊	步兵一大隊	步兵一大隊	步兵一大隊
四一分隊	四二一分隊	同	同	同	三一分隊
騎兵小隊	騎兵小隊	騎兵小隊	騎兵小隊	騎兵小隊	騎兵小隊
(傳騎チ)	(傳騎チ)	(傳騎チ)	(傳騎チ)	(傳騎チ)	(傳騎チ)
一小隊	一小隊	一小隊	一小隊	一小隊	一小隊
(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
步兵一中隊	步兵一中隊	步兵一中隊	步兵一中隊	步兵一中隊	步兵一中隊
騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ
工兵ハ前ニ同シ	工兵ハ前ニ同シ	工兵ハ前ニ同シ	工兵ハ前ニ同シ	工兵ハ前ニ同シ	工兵ハ前ニ同シ
騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊
(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
步兵二中隊	步兵二中隊	步兵二中隊	步兵二中隊	步兵二中隊	步兵二中隊
騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊
(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊
(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)

砲兵一中隊	工兵一小隊	工兵一中隊	工兵一中隊
衛生隊半部	一中小隊	一中小隊	一中小隊
騎兵一聯隊	一中小隊	一中小隊	一中小隊
(三中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
步兵一旅團	步兵一大隊	步兵一大隊	步兵一大隊
騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊	騎兵一中隊
砲兵一大隊	砲兵一大隊	砲兵一大隊	砲兵一大隊
(中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
工兵一中隊	工兵一小隊	工兵一中隊	工兵一中隊
(中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
衛生隊半部			
步兵一旅團	步兵ハ前ニ同シ	步兵ハ前ニ同シ	步兵ハ前ニ同シ
騎兵一聯隊	騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ
(中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
砲兵一大隊	砲兵ハ前ニ同シ	砲兵ハ前ニ同シ	砲兵ハ前ニ同シ
(中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
工兵一大隊	工兵一中隊	工兵一中隊	工兵一中隊
(中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
衛生隊半部			
步兵一旅團	步兵ハ前ニ同シ	步兵ハ前ニ同シ	步兵ハ前ニ同シ
騎兵一聯隊	騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ	騎兵ハ前ニ同シ
(中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
砲兵一大隊	砲兵ハ前ニ同シ	砲兵ハ前ニ同シ	砲兵ハ前ニ同シ
(中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
工兵一大隊	工兵一中隊	工兵一中隊	工兵一中隊
(中)	(傳騎缺)	(傳騎缺)	(傳騎缺)
衛生隊半部			

衛生隊一隊			
定規編制ノ師團	歩兵一聯隊 <small>(一大隊)</small> 騎兵一小隊 工兵一中隊 衛生隊半部	歩兵一聯隊 騎兵ハ同上 工兵一大隊 <small>(一中隊)</small> 衛生隊ハ同上	歩兵ハ同上 騎兵ハ同上 工兵一大隊 <small>(一中隊)</small> 衛生隊ハ同上

### 第五 梯隊區分及其名稱

前衛ノ任務ヲ大別スルトキハ成ルベク廣ク且ツ遠ク密ニ搜索スルト本隊ノ行進ヲ沮滯セザル爲メ道路ヲ改修シ或ハ障害物ヲ除去スベキト敵襲ニ方リ之ヲ抗拒スルトノ三ナルベシ

前衛ハ此三任務ヲ達スル爲メ通常ノ場合ニ在テハ三梯隊ニ區分セザル可ラズ即チ前衛騎兵、前衛前兵及前衛本隊トス

前衛騎兵及前兵ハ專ラ第一、第二ノ任務ニ任ジ前衛本隊ハ專ラ第三ノ任務ニ服ス然レモ騎兵寡弱ナル場合等ニ在テ前衛騎兵ヲ設ケザルトキハ第一、第二ノ任務ハ專ラ前兵之ニ任ズベキモノトス

前兵ハ既述ノ如ク前衛任務ノ一部及前衛ノ本隊ニ對スル任務ト殆ド同ク前衛本隊ニ對シテ責任ヲ有ス故ニ前兵ハ更ニ一部隊ヲ前遣セザル可ラズ即チ尖兵是レナリ行軍部隊大ナルトキ等ニ於テハ此中間ニ尙ホ前兵支部ヲ派遣スルコトアリ

前衛騎兵ハ其分擔セル任務ヲ達スル爲メ亦適當ニ其隊ヲ區分スルヲ要ス

小部隊ノ行進ニ在テハ前ニ述ブル如ク數個ノ梯隊ニ分割スルヲ得ズ即チ例令ヘバ歩兵一中隊ノ行軍ニ在テ一分隊若クハ一小隊ヲ出シ或

ハ歩兵一大隊ノ行軍ニ在テ歩兵一中隊ヲ出ストキノ如キハ尖兵前兵及前衛本隊ニ區分シ且ツ此ノ如キ一般普通ノ名稱ヲ附スル能ハズ然ラバ之ニ如何ナル名稱ヲ附スルヲ適當トスルヤ抑モ前衛ノ任務ハ搜索(甲)ト道路ノ改修等(乙)ト敵ヲ抗拒シテ本隊ニ所要ノ時間ヲ得セシムル(丙)トニアリ然ルニ小部隊ノ行軍ニ在テ一小部隊ヲ其前面ニ派遣シタル場合ニ於テハ單ニ搜索勤務ヲナシ得ルモ道路改修ノ如キハ之ヲ果スノ力ナク又本隊ノ開進若クハ展開ニ費スベキ時間甚ダ僅少ナルヲ以テ長ク敵ヲ抗拒スルノ必要ナシ換言スレバ乙丙ノ任務ヲ達成スルノ力ニ乏シク否敢テ之ヲ果スベクカムルノ必要ナシ之ニ反シテ搜索勤務ハ必ラズ之ヲ力メザル可ラザルナリ故ニ單ニ一分隊ヲ派遣シタルガ如キハ之ヲ前衛ト稱セズシテ直接搜

索ニ任ズベキ部隊ノ名稱即チ尖兵ト稱スルヲ適當トス野外要務令ハ歩兵ノ爲メニ之ガ規定ヲ設クルコトナキモ騎兵ノ爲メニハ左ノ數語ヲ費ヤセリ

小ナル騎兵部隊ニ在テハ常ニ前衛各部ノ區分ヲ省略シ一、二中隊ノ騎兵ニ在テハ單ニ稍大ナル尖兵ヲ出スノミニシテ可ナルコトアリ之ニ依テ見ルトキハ歩兵ニ在テモ亦尖兵ト稱スルハ要務令ノ精神ナルベキト信ズ前衛ノ兵力歩兵一中隊ノ如キ場合ニ在テハ概チ一部隊ヲ出スノミニシテ更ニ之ヲ分割シテ前兵尖兵トナシ得ザルコト多カルベシ然ルトキハ之ニ如何ナル名稱ヲ附スルヲ適當トスルヤ蓋シ是亦前理由ニヨリ尖兵ト稱スルヲ適切ナリトス

側面危険ナル場合ニ在テハ前衛ハ側面ニ對シテ我任務ヲ達スル爲メ  
部隊ヲ派遣ス之レガ名稱ハ其任務ニヨリ或ハ之ヲ側衛ト云ヒ或ハ之  
ヲ斥候ト稱スベキモノトス

### 第六 前衛本隊

前衛本隊ハ專ラ前衛ノ戦闘任務ヲ負擔スルニアリ故ニ之レガ兵力ハ  
其任務ヲ果スニ適當ナル如ク編成セザル可ラズ即チ前衛ニ屬セラレ  
タル歩兵ノ大部分(前衛歩兵ノ三分二乃至四分ノ三)及野戰砲兵(附屬セ  
ラレタルトキハ)ヲ以テシ而シテ之ニ騎兵ノ若干ヲ附加スルヲ常トス  
時トシテ尙ホ之レニ工兵ノ一部ヲ附屬ス其他前衛ニ衛生隊及架橋縱  
列ノ各一部ヲ屬セラレタルトキハ之ヲ前衛本隊ニ置クモノトス

其歩兵及砲兵ハ專ラ戰鬥ニ任ズル爲メ其騎兵ハ傳令勤務ニ任ズル爲  
メニシテ尙ホ之ニ工兵ノ一部(前兵ニ附屬シタル殘部)ヲ附屬スルハ砲  
兵通過等ノ爲メニ道路橋梁ノ破損ヲ顧慮スベキ場合ナルヲ通常トス  
衛生隊ハ戰鬥ヲ開始スルヤ直チニ必要ナキト其開設スベキ位置ノ關  
係トニヨリ敢テ之ヲ前兵ニ附屬スルノ必要ナキモノトス  
單ニ橋梁改修等ノ目的ヨリ論ズレバ架橋縱列ハ之レヲ前兵ニ附屬ス  
ルヲ必要トスルガ如クナルモ元來架橋縱列ハ戰鬥ニ全ク必要ナク且  
ツ前兵ト前衛本隊トノ距離甚ダシク遠カラザルヲ以テ之ヲ前衛本隊  
ノ後尾ニ置クヲ常トス然レモ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ前兵ニ屬スル  
モ敢テ不可ナカルベシ

前衛本隊中ノ行進序列ハ戰鬥ニ際シテ使用スベキ順序ヲ顧慮シ前衛

司令官之レヲ定ムベキモノトス  
其普通ナル行進順次ハ左ノ如シ

1. 傳令騎兵(若シ自轉車隊アレバ同所ニ)

2. 歩兵

3. 砲兵

4. 工兵

5. 架橋縦列

6. 衛生隊

7. 輕氣球隊(若シ前衛ニ屬セラレタルトキハ)

前衛本隊ハ通常集合シテ逐次ニ出發スベキモノトス而シテ其先頭ノ  
出發ハ司令官之レヲ指示スルヲ常トス

### 第七 前 兵

前衛本隊ハ專ラ戰鬥任務前衛騎兵ハ專ラ搜索勤務ニ任ズ前兵ハ其他  
ノ前衛ノ任務及搜索勤務ノ一部殊ニ前衛騎兵ノ設ケナキトキハ其搜  
索勤務ノ全部ニ任ズベキモノトス尙ホ前兵ハ前衛本隊ノ前衛タルベ  
キガ故ニ之ニ對シテハ其戰鬥任務ヲ負擔セザル可ラズ即チ微弱ナル  
敵ハ之レヲ擊破シ優勢ナル敵ハ之ヲ拒止シテ前衛本隊ニ展開ノ時間  
ヲ與フルヲ要スベキナリ

前兵ノ任務此ノ如クナルヲ以テ之レヲ達スルニ必要ナルト軍隊ノ建  
制ヲ破ラザルトヲ願慮シテ前衛歩兵ノ四分ノ一乃至三分ノ一ヲ以テ  
編成シ之ニ尙ホ必要ナル騎兵工兵ヲ附屬スベキモノトス而シテ其歩  
兵ハ專ラ前兵ノ負擔スベキ戰鬥任務ニ騎兵ハ歩兵ノ力ヲ借ルコトナ

ク其前進路及側方ヲ搜索スルノ任務ニ工兵ハ道路橋梁ノ改修構築及阻絶物等ヲ除去スベキ任務ニ服スベキモノトス

前兵ハ其任務ノ重大ニシテ且ツ錯雜ナルコト既述ノ如クナルヲ以テ己レ自ラ之ヲ果スコト能ハズ故ニ部隊ヲ更ニ派遣シテ任務ヲ分擔セシメザル可ラズ即チ歩兵尖兵是レナリ然レモ前兵ノ兵力強大ナルカ若シクハ地形掩蔽スルガ如キ場合ニハ其任務ヲ盡クスニ益々容易ナラシメンガ爲メ尙ホ前兵支部ヲ出スヲ必要トスルコトアリ又前衛騎兵ノ設ケナキトキハ歩兵尖兵ノ前方ニ騎兵尖兵ヲ出スヲ常トス

前兵ノ兵力ハ例令ハ大部隊ノ前兵ト雖モ歩兵一大隊ニ若干ノ他兵種ヲ附加セシニ過ギザルベシ何トナレバ一道ヲ探リテ前進スル軍隊ノ最大單位ハ師團ナレバナリ故ニ前兵司令官ノ翌日ノ爲メニ下スベキ

命令ハ單ニ集合地ト之レニ集合スベキ時間ヲ指示スベキモノニシテ其他ニ關シテハ翌日集合地ニ於テ下スヲ常トス然レモ地形其他ノ研究ヲ要スベキ場合ニ在テハ時トシテ敵情及前進路ヲ前夜ニ於テ指示スルヲ可トスルコトアリ

集合地ニ於テ下スベキ口演命令ハ概テ左ノ如シ(口演命令ハ1,2,等ノ番號ヲ稱セザルヲ常トス)

1. ハ前衛司令官ノ下スモノニ殆ド同ジ
2. 前兵目的ノ大要及前兵ノ編成(要スレバ2項ト共ニ記ス)
3. 騎兵尖兵ノ兵力及其進路出發時限出發地點要スレバ搜索方向ニ關スル指定

5. 歩兵尖兵若シクバ前兵支部ノ兵力及其進路、出發時限、出發地點要スレバ搜索方向并ニ尖兵ト前兵トノ距離ヲ指定ス

6. 要スレバ諸種ノ記號

7. 前兵司令官ノ行進位置

敵情及地形ニ關シ必要ト認ムベキコトハ之レヲ前衛司令官ニ報告スベキモノトス殊ニ障害物等ニ遭遇セシトキハ之ヲ除去スル等ニ費スベキ時間ヲ概定シテ報告スルコト緊要ナリ

前兵司令官ハ通常前兵ノ先頭ニアリテ前進ス稀レニハ前兵支部ト同行スルコトアリ

側面ノ危険ナル場合ニ在テハ前衛本隊ト同ク側衛若クハ斥候ヲ派遣スルヲ得ルモノトス然レモ前衛本隊ヨリ派遣スルモノニ比セバ兵力

少ナク且ツ距離近キヲ常トス

### 第八 前兵支部

前兵支部ヲ出スベキ場合ハ既述ノ如シ其任務ハ前兵ノ任務タル搜索ノ一部ト敵ノ攻撃ニ對シテ前兵ノ開進ヲ掩護スルニアリ道路改修ノ如キハ專ラ前兵ノ任ズベキモノトス

前兵支部ノ任務此ノ如クナルヲ以テ之ガ編成モ亦單純ナルヲ要ス即チ歩兵一中隊乃至一小隊ニ必要ノ騎兵ヲ附屬スルヲ常トス而シテ其歩兵ハ戦闘及狹隘ナル區域ノ搜索ニ任シ騎兵ハ專ラ通信任務ニ從事ス

前兵支部モ亦我任務ノ一部ヲ達スル爲メ歩兵尖兵ヲ派遣ス若シ前兵



支部ヲ置カザルトキハ前兵ヨリ直チニ歩兵尖兵ヲ出スベキモノトス  
 前兵支部長ノ下ス命令ハ集合地ニ於テスルヲ常トス而シテ其下スベ  
 キ要目等ハ前兵司令官ノ下スベキモノニ準ズ  
 敵情及地形等ニ關シ必要ナルモノハ之ヲ前兵司令官ニ報告スベキモ  
 ノトス

前兵支部長ハ通常其支部ノ先頭ニアリテ行進ス稀レニハ尖兵ト同行  
 スルコトアリ

### 第九 歩兵及騎兵尖兵

歩兵及騎兵尖兵ノ任務ハ專ラ敵情及地形ノ搜索ニアリ而シテ遠ク且  
 ツ廣ク搜索スルコトハ騎兵尖兵ハ前衛騎兵ニ及バズ歩兵尖兵ハ騎兵

尖兵ニ及バズ然レモ敵ニ對シテ抵抗力ヲ有スルニ至テハ騎兵ハ遠ク  
 歩兵ニ及バザルベシ故ニ前衛騎兵ヲ設クル場合ニ在テハ騎兵尖兵ヲ  
 備フルノ必要ナキモ歩兵尖兵ヲ缺ク能ハズ騎兵尖兵ヲ設クルトキモ  
 尙ホ然リトス是レ歩兵尖兵ヲシテ若干ノ抵抗力ヲ備ヘシムルヲ必要  
 トシ又歩兵單獨ノ行進ニ於テ其尖兵ヲ比較的増大ナラシムルヲ緊要  
 トスル所以ナリ前項ノ目的ヲ達スル爲メ歩兵尖兵ハ一分隊以上騎兵  
 尖兵ハ四騎乃至六騎ヲ以テ編成ス而シテ各尖兵ハ共ニ士官之レヲ指  
 揮ス歩兵尖兵長ハ馬足ヲ利用シ能ハザルヲ以テ尖兵ノ先頭ニ騎兵尖  
 兵長ハ敢テ先頭ニアラザルモ必要ニ際シテハ迅速ニ其先頭ニ至リ得  
 ベキガ故其位置ヲ規定スルノ必要ナキモノトス要ハ一瞬間ノ視察ヲ  
 以テ能ク敵情ヲ判斷シ且ツ地形敵情ニ應ジテ機ヲ失スルコトナク適

當ノ處置ヲ探ラシメンガ爲メナリ

各尖兵ノ任務達成ノ爲メ探ルベキ方法等ヲ概述スレバ左ノ如シ

1. 尖兵ハ搜索及自己掩護ノ目的ヲ以テ斥候或ハ搜索兵ヲ派遣ス
2. 騎兵尖兵ハ常ニ躍進法ニヨリ搜索ニ任ズベキモノトス即チ路傍ニ監視ニ適當ナル高地アレバ之ニ登リ停止シテ監視ニ任ジ而シテ歩兵之レニ達スレバ直チニ馬足ヲ利用シテ次ノ展望地ニ至ル此ノ如クシテ搜索ニ任ズベキモノトス
3. 尖兵長ガ搜索兵若クハ斥候ヲ派遣スルトキハ之ニ行進スベキ方向保持スベキ間隔及注意スベキ著明ナル物體等ヲ指示スルヲ要ス
4. 開濶平坦ナル地形ニ在テハ尖兵ハ僅少ノ斥候ヲ遠ク派遣スベキ

モノトス

5. 尖兵ハ部落若クハ掩蔽地ニ在テハ互ニ見失ハザルカ若シクハ記號ヲ以テ互ニ相通信シ得ルヲ度トシテ兩翼ノ後退スル灣形ヲナシタル一ノ運動スル所ノ警戒線ヲ作り前進スベキモノトス
6. 掩蔽或ハ不齊甚シキ土地若クハ濃霧ノ場合ニ在テハ比較的小ナル間隔ニ散開シテ前進シ或ハ前者ノ場合ニ於テハ各道路ニ斥候ヲ出シテ前進スルヲ可トスルコトアリ
7. 山地等ニ於テ廣ク土地ヲ監視シ得ベキ地點ニハ斥候ヲ逐次ニ派遣シテ全縱隊ノ通過スル迄停止セシムルヲ有利トスルコトアリ然ルトキハ尖兵長ハ之ヲ直轄上官ニ報告シ置カザル可ラズ
8. 尖兵ガ人ニ遭遇スルトキハ之ヲ抑留シ必要ト認ムルトキハ騎兵

尖兵ハ之ヲ歩兵尖兵ニ歩兵尖兵ハ之ヲ前兵若シクハ前兵支部ニ送ルモノトス

9. 尖兵ハ成ルベク精密ニ搜索ヲナサザル可ラザルモ亦背後部隊ノ行進ヲ遅緩セシム可ラズ之ガ爲メ歩兵尖兵ハ通常二人ノ兵ヲ前兵若クハ前兵支部トノ中間ニ騎兵尖兵ハ一騎若クハ二騎ヲ後方路上ニ置キ以テ連絡ニ任ゼシムベキモノトス

10. 大休止ノ際尖兵ハ依然縦隊ノ掩護ニ任ズベキモノトス之レガ爲メニハ其附近ニ於テ遠ク展望シ得ベキ地點ヲ撰定シテ之ヲ占領シ宛カモ前哨ノ警戒ニ於ケル如ク兵ヲ配布スベキモノトス但小休止ニ在テハ尙ホ之ヲ簡單ニスルヲ得

11. 近ク我前方ニ敵ノ歩兵現在スルヲ察知シ或ハ確認スルトキハ比

較的搜索ヲ周密ニセザル可ラズ即チ尖兵ガ森林村落等ノ近傍ニ達スルトキハ先ヅ一、二ノ兵卒ヲシテ潜行シ或ハ駆足ニテ之ニ接近シ以テ敵已デニ之レヲ占領シアルヤ否ヲ確認セシム此間尖兵ハ敵ノ有効射撃外ニ掩蔽シテ停止シアルモノトス而シテ敵ノ占領シアラザル報告ヲ得テ尖兵ハ初メテ前進スルヲ可トスルコト屢々アリ

12. 尖兵敵ヲ發見セバ尖兵長ハ精密ニ之レヲ視察シ其敵ノ斥候ナルヤ尖兵ナルヤ或ハ監視兵ナルヤヲ判斷シ直チニ之ヲ直轄上官ニ報告シ而シテ適當ナル所置ヲ探ルベキモノトス但シ如何ナルコトヲナスヲ適當トスルヤハ地形情況ニヨリ一定ス可ラザルハ勿論ナリト雖モ多クノ場合ニ於テハ其附近ニ於テ自己ヲ掩蔽シテ

敵ヲ監視スルヲ適當トス

13. 尖兵長ハ斥候等ヨリ報告ヲ受クルトキハ自ラ之ヲ査閲シ其必要ト認ムルモノハ之ヲ直轄上官ニ報告スベキモノトス

14. 尖兵ガ射撃ヲ以テ敵ノ發見ヲ報ズルハ敵トノ遭遇不意ニシテ之レヲ報ズルノ違ナキ場合トス

15. 隘路、森林、及村落等ニ在テハ尖兵ハ特ニ注意ヲ倍蕪スルヲ要ス

16. 尖兵ハ道路、橋梁ノ破壊若シクハ其損所及敵情、地形ニ關シ必要ト認ムルモノハ細大洩ラサズ之ヲ報告スベキモノトス

尖兵ノ任務困難ナルコト既ニ述ベタルガ如シ故ニ前兵司令官或ハ前兵支部長ハ休止時間等ヲ利用シテ尖兵ヲ交代セシムルヲ要スルコト屢々アルベキモノトス但シ騎兵尖兵ハ之ヲ要スルコト稀レナリ

敵發見等ノ記號ニ關シテ前兵司令官ヨリ定メラレザルトキハ尖兵長ハ適宜ニ之レヲ定ムルヲ必要トス

尖兵長ハ一方ニハ部下兵卒ノ長所ニヨリテ之ヲ使用シ他方ニハ勞力勤務ノ平均ヲランコトニ注意ヲ要スベキモノトス

歩兵尖兵ハ常ニ銃ニ裝填シアルベシ騎兵尖兵ハ通常刀ヲ鞘ニ納メ負銃ニテ行進スルモノニシテ必要ニ際シ其長ノ命ニヨリ之ヲ執ルベキモノトス

騎兵尖兵長ハ苟クモ必要ナラザル場合即チ警戒之ヲ許セバ兵卒ヲ下馬セシメ以テ馬匹ヲ休息セシムルノ注意必要ナリトス

### 第十 前衛騎兵

前衛騎兵ノ任務ハ前衛任務ニ記述セル甲及己ノ任務ヲ專ラ擔任スベキモノトス故ニ其搜索ノ爲メニハ遠ク進出スルノ必要ヲ生ズベキモ直接ニ歩兵ヲ掩護スベキ目的ノ爲メニハ遠ク離隔スルヲ得ズ此相反スル二個ノ要求アルヲ以テ前衛騎兵ノ進出スベキ距離ハ決シテ背後ニアル歩兵隊ト連絡ヲ失ハザルヲ以テ度トセザル可ラズ尙ホ前衛騎兵ハ獨立騎兵若クハ騎兵旅團ト連絡ヲ執ルベキ任務ヲ有ス之レガ爲メニハ斥候ヲ派遣スルヲ以テ通常トス

前衛騎兵ノ兵力ハ敢テ一定ス可ラザルモ通常ハ一小部隊ニ過ギザルモノトス何トナレバ騎兵聯隊ノ首力ハ獨立騎兵トシテ使用セラレバナリ其區分法ハ任務ニ應ズベキモ概ネ一尖兵ヲ出スニ過ギザルベシ然レモ特別ノ場合ニ在テハ騎兵聯隊ノ首力ヲ前衛騎兵トシテ使用

スルコトアリ

前衛騎兵敵ノ壓迫ヲ受クルトキハ漸次ニ我歩兵隊ノ正面ヲ避ケテ退却シ通常翼側ニ在テ側面ノ警戒及敵ヲ其側背ヨリ搜索スルモノトス然レモ好機アレバ勿論戦闘ニ參與セザル可ラズ

搜索方法等ニ關シテハ歩兵及騎兵尖兵ノ爲メニ述ベタル要領ニ準ズベキモノトス

### 第十一 本隊ト前衛ノ距離

本隊ガ攻勢ノ目的ヲ有スルトキハ比較的其距離ヲ短縮スルヲ要ス是レ前方ニ速カニ展開セシガ爲メナリ

兵力大ナルニ從フテ益々其距離ヲ遠大ナラシムルヲ要ス是レ本隊ヲ

シテ戰團展開ニ必要ナル時間ト場所トヲ確實ニ得セシメンガ爲メナ  
 リ之ニ反シテ部隊小ナルトキハ直チニ展開シ得ラルベキヲ以テ其距  
 離ヲ短縮スルヲ得然レモ例令へ敵ト不意ニ遭遇スルコトアルモ直チ  
 ニ敵ノ有効射撃ヲ蒙ルガ如ク短少ナラシムベカラズ敵若シ重砲ノ如  
 キ射程遠大ナル兵器ヲ有スルガ如キ場合ニ在テハ其距離ヲ遠大ナラ  
 シムルヲ要ス

本隊ノ行進ヲシテ澁滯中止ノ憂勿ラシメンガ爲メニハ其距離ヲ遠大  
 ニスルヲ要ス

總テ本隊ヲシテ時機ヲ失スルコトナク戰團ニ加ハルヲ得セシムル爲  
 メニハ其距離ヲ短縮スルヲ要ス

搜索勤務ノ不完全ナルニ從フテ其距離ヲ長遠ナラシムルヲ要ス是レ

不意ノ敵襲ニ際シ本隊ニ展開ノ時間ト場所トヲ得セシメンガ爲メナ  
 リ故ニ歩兵ノミノ行軍縱隊ハ騎兵ノミノ行軍縱隊ニ比スレバ其距離  
 ヲ遠大ナラシムルヲ要ス騎兵ヲ有スルコト比較的僅少ナル國軍ニ在  
 テモ亦然ルベキナリ

平坦開濶ノ地ニ在テハ展望自在ナルヲ以テ其距離ヲ短縮スルヲ得之  
 レニ反シテ掩蔽地ニ在テハ遠大ナラシメザル可ラズ

追撃ノ場合ニ在テハ其距離遠大ナルモ敢テ妨ゲナキモノトス

行軍縱隊ノ正面狹縮ナルニ從ヒ其距離ヲ短縮スルヲ要ス

本隊ト前衛トノ距離ヲ或ハ短縮シ或ハ遠大ナラシムベキ關係ハ既述  
 ノ如シ故ニ之ヲ約言スルトキハ其距離ハ我軍ノ目的、兵力、敵軍ニ關ス  
 ル願慮、地形ノ關係及其他ノ情況ニヨリ變化スベキモノニシテ敢テ一

定スルヲ得ズ然レモ一師團ノ縦隊ニ在テハ其距離約二千米突ヲ通常トス

### 第十二 前衛各梯隊ノ距離

前衛各梯隊ノ距離ヲ増減スベシ原因モ亦本隊ト前衛トノ距離ノ爲メニ述ベタル原因ニ殆ド相等シ故ニ此距離モ亦一定スベカラズ然レモ之レガ標準ヲ述ブレバ左ノ如シ

前衛本隊ト前兵

七百乃至千二百米

前兵ト前兵支部

三百乃至四百米

前兵若クハ前兵支部ト歩兵尖兵

三百乃至四百米

歩兵尖兵ト騎兵尖兵トノ距離ハ他ノ梯隊距離ヲ定ムベキ原因ノ關係

ヨリモ尙ホ一層困難ニシテ殆ド概定シ得ザルモ強テ之ヲ述ブレバ約八百米突位ナルベシ又歩兵尖兵ト前衛騎兵トノ距離ニ至テハ全ク概定シ得ズ要ハ歩兵尖兵ト連絡ヲ失ハザルヲ程度トセザル可ラズ強テ之ヲ述ブレバ約二千乃至五千米ナルベシ

### 第十三 本隊以下ノ梯隊距離

本隊ト大行李トノ距離ハ給養ノ便利ナルヨリ論ズレバ之ヲ短縮スルヲ可トスルハ理ノ最モ觀易キ所ナリ然レモ他ノ一方ヨリ觀察スルトキハ本隊ガ交戦ヲ避クルノ目的ヲ以テ不意ニ退却スルカ或ハ戰鬥不利ナル場合ニ於テ退却スルガ如キコトヲ顧慮セバ成ルベク之ヲ遠隔セシメ置クヲ利トス

此ノ如キ相反スル二個ノ要求中其孰レヲ充タスヲ適當トスルヤハ情況ヲ熟慮シテ定メザル可ラズ詳言スレバ戰術上ヲ顧慮スベキカ給養上ヲ顧慮スベキカニアリ

其戰術的顧慮ヲ要スル場合ニ於テ若干米突ヲ適當トスルヤハ三十六年十月發兌ノ階行社記事第三百二十四號ニ載セテ詳カナリ然レモ本記事ハ全ク理想的ニ過ギザルヲ以テ指揮官タルモノハ彼是相斟酌スルヲ要ス然ラザレバ戰術ハ全ク死物ニ陥リテ活動セザルニ至ルベシ大行李ト輜重第一梯隊ノ距離ハ概シテ三千米突ヲ可トス要ハ軍隊ト半日行程ヲ過ギザル位置ナルヲ要ス

輜重第一梯隊ト同第二梯隊トノ距離ハ概シテ四千乃至五千米突ヲ可トス要ハ軍隊ト一日行程ヲ過ギザル位置ナルヲ要ス

#### 第十四 側衛

前衛ハ進路ノ前面ニ對スル警備ニ任ジ側衛ハ其側面ノ警戒ニ任ズルモノトス側支隊ハ側衛ト異ニシテ他ニ一ノ任務ヲ負擔ス即チ側衛ハ戰術的側支隊ハ戰略的目的ヲ以テ派遣ス故ニ側支隊ハ殆ド獨立ノ性質ヲ有スルモノトス而シテ戰術戰略ノ關係密接ナルガ如ク側衛ト側支隊モ亦甚ダ密接ノ關係ヲ有シ且ツ側支隊ハ如何ナル特別ノ任務ヲ有スルモ皆其本軍ノ目的ヲ達スベキ補助目的タルニ過ギザルヲ以テ若シ本軍ノ危殆ナル場合ニ際シテハ之レガ防遏ニ努力セザル可ラザルナリ之ヲ以テ側衛ニ側支隊側支隊ニ側衛ノ名稱ヲ附スルモ敢テ支障ナキコトアルベシ但シ側支隊ニ任務ヲ課セザルトキハ側衛ノ如ク側面ノ警備ニ任ズベキモノトス



側衛ヲ區分シテ之ヲ二トナスヲ得即チ前面ノ敵ニ對シテ行進スル場合ニ派遣スベキモノ及敵ニ對シテ側進スル場合ニ其側面ニ派遣スベキモノ是レナリ以下述ブル所ノモノハ其前者ナリトス

普通ノ場合ニ於ケル前進ニ在テハ前衛本隊若シクハ前兵其側方ニ斥候若クハ一小部隊ヲ派遣スルヲ以テ足レリトス何トナレバ其危険甚シク大ナラザルヲ常トスルガ故ヘ警戒ヲナスハ主眼ニシテ強キ抵抗ヲ爲スノ目的ニアラザレバナリ此ノ如クナルヲ以テ側衛ハ騎兵ヲ以テ編成シ而シテ其搜索手段ヲ利用シテ警戒ヲ充タスヲ可トス

然レモ敵ト戰鬪ヲ豫期スルガ如キトキニ在テハ諸兵種ヲ以テ之ヲ編成スルコトアリ此ノ如キ場合ト雖モ搜索及連絡ヲ迅速確實ナラシメシテガ爲メ特ニ騎兵ヲ附屬スルコト緊要ナリ其兵力ハ危險ノ大小ト地

形ニヨリ同ジカラザルモ前衛ノ二分ノ一乃至四分ノ一ヲ用フルヲ通常トス故ニ師團ノ側衛ハ約歩兵一大隊ヲ基幹トシテ編成スルヲ常トス而シテ其本縱隊トノ間隔ハ師團戰鬪正面ノ關係ト野戰砲兵射程ノ關係トニヨリ約二千米ヲ適度トス

速ニ展開スルヲ要スル場合ニ於テ他ノ情況之ヲ許ストキ若クハ地形及給養等ノ關係ニヨリ強大ノ側衛ヲ設クルヲ有利トスルコトアリ

強大ナル側衛ハ本隊ヨリ出スヲ常トス蓋シ側衛ノ兵力如何ニ拘ハルコトナク概シテ前衛ト同高ニ在テ縱隊路ト平行スル道路ヲ前進スルモノトス然レモ地形敵情ニヨリ時トシテ前衛本隊或ハ本隊ト同高ニ在テ行進シ或ハ一地ヲ占領シ本隊ヲシテ其背後ヲ通過セシムルコトアリ又通過容易ナルベキ原野ニ在テハ路外ヲ行進セシムルコトアル

ベシ

步兵若クハ騎兵ノミ單獨ノ行進ニ在テモ亦前要領ニ準ジ側面ヲ掩護スベキモノトス

側衛ノ前進及休止ニ於ケル警戒法ハ概テ前衛ノ警戒方法ニ異ナルコトナシ

圖十六

### 第十五 後衛

前進行ニ在テハ通常後衛ヲ設ケザルヲ一般普通ノ原則トス然レモ左記ノ如キ特別ナル場合ニ於テ之ヲ設クルコトアリ

- 1、我背後ヲ敵ノ別働隊ガ出沒スルトキ
- 2、民心不穩ノ兆アリテ而カモ戦闘力ヲ有セザル衛生隊ノ如キ部隊

ノ本隊後尾ニ在テ行進スルトキ

故ニ其任務ハ後方ニ對シテ縱隊ヲ掩護スルニアリ而シテ其兵力ハ專ラ危険ノ大小ニヨルベキヲ以テ之ヲ概定スルヲ得ズ縱隊ヨリ距離ベキ距離ニ於テモ亦然リトス

既述ノ如キ場合ニ於テハ尙ホ大行李及輜重梯隊ニ護衛兵ヲ附スルヲ有利トスルコトアルベシ

前進ニ於ケル警備行軍ノ原則終

第十五 後衛

四十七

明治三十七年一月二十日印刷  
明治三十七年一月廿九日發行



著作者

花都逸士氏

發行者

上田 賴三

印刷者

齋藤 裕

印刷所

齋藤活版所

(電話新橋千六百七番)

東京市麴町區平河町四丁目一番地

發行所

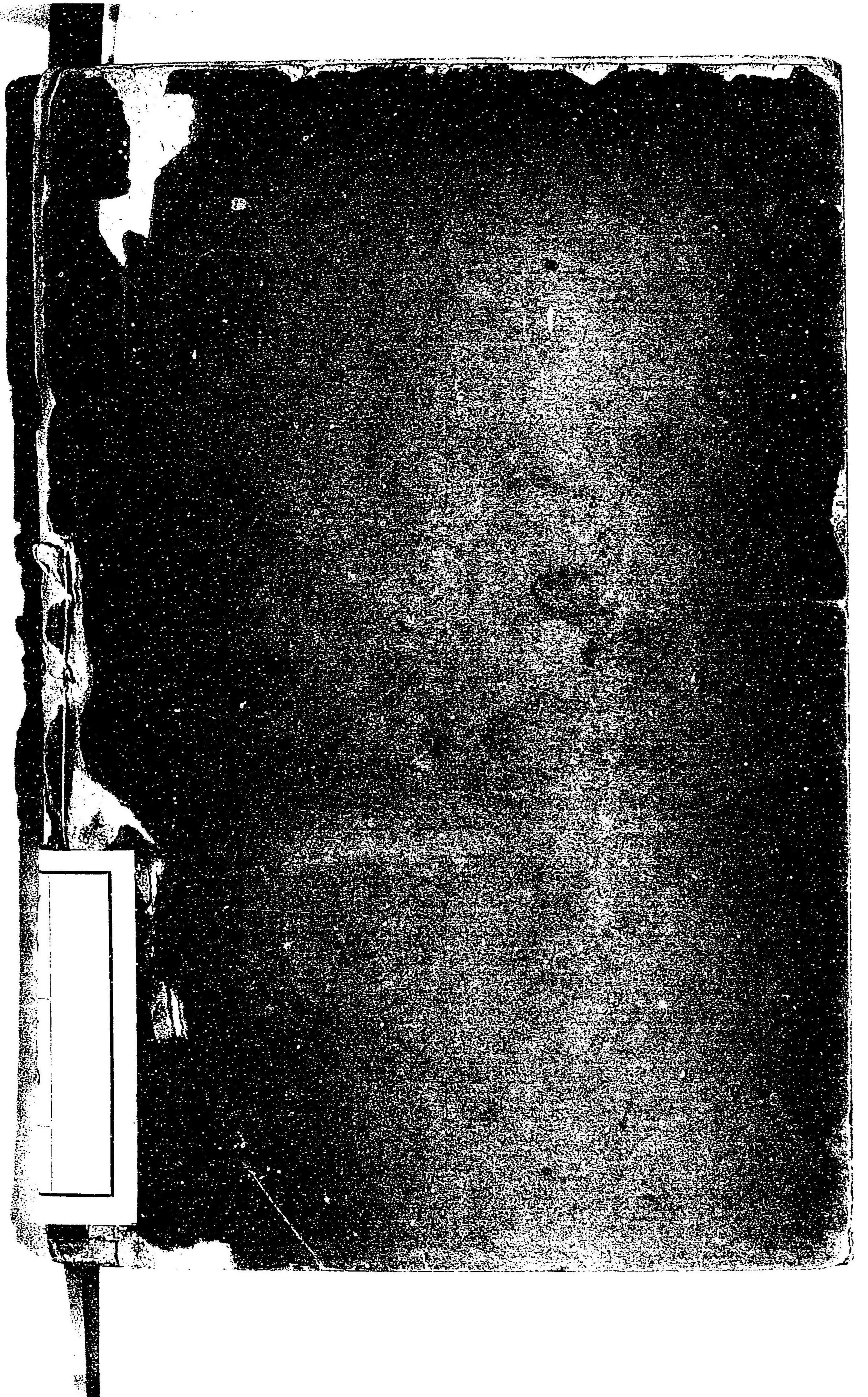
兵 林 館

電話番町六八九

前進ニ於ケル警備  
行軍ノ原則奥附

正價金拾錢





318  
129

051901-000-3

318-129

前進ニ於ケル警備行軍ノ原則

花都逸士／著

M37

BFB-0795



0101